

## ■定例会

2020年は、COVID-19感染防止のため、中止したりオンラインとオフラインを取り混ぜて実施するなど変則の一年でした。振り返ってみると、  
 1月 「あすみん」で実施。  
 2月 グランチャイナ福岡で総会  
 3月 コロナ感染防止で中止  
 4月、5月 Lineを使ったオンラインで実施  
 6月 「あすみん」で実施  
 7月 「あすみん」でチャリティパーティやシンポジウム、スタディツアーについて話し合い。



8月 初めてZoomによるオンラインで実施



9月 「あすみん」でシンポジウムについて討議



10月 オフラインで実施し、その後懇親会



11月 Zoomによるオンラインで実施  
 12月 「あすみん」でニュースレター発送作業

## ■今後のスケジュール

2021年  
 1月20日 定例会  
 2月1日 18:00~19:00 ハビタットひろば  
 2月17日 総会  
 3月17日 定例会  
 4月1日 ハビタットひろば(予定)  
 4月21日 ニュースレターNo.60 Web 発行  
 5月19日 定例会  
 6月1日 ハビタットひろば(予定)  
 6月16日 勉強会  
 7月21日 定例会(チャリティパーティ予定)  
 8月1日 ハビタットひろば(予定)  
 8月18日 ニュースレターNo.61 Web 発行  
 8月 シンポジウム開催  
 9月15日 定例会  
 10月4日 World Habitat Day  
 10月20日 定例会  
 11月17日 定例会  
 12月1日 ハビタットひろば(予定)  
 12月15日 ニュースレターNo.62 発行

## ■お知らせとお願い

### ニュースレターのお届け方法について

2021年度よりE-MAILによる配信に切り替えさせていただきます。なお、年末の号のみ従来通り紙媒体による郵送とします。皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

### ■年会費納入のお願いについて

ハビタット福岡市民の会の活動は、皆さんの会費により支えられています。ご協力をよろしくお願いいたします。

2021年度の年会費を同封の郵便取扱払込票にて納入いただきたくよろしくお願いいたします。手数料は不要です。

年会費：一般 2000円  
 学生 1000円

### 編集後記

2020年は、新型コロナに翻弄された一年でした。シンポジウムやスタディツアーも中止、ハビタットひろばもほとんど中止となり、記事がなく、4月8月のニュースレターは、休刊せざるを得ませんでした。

12月は、なんとか紙媒体での郵送をすることができました。コロナの終息は、見通しが見えない状態なので、今後はウィズコロナで、なんとか活動を続けていきたいものです。(牟田)

### 事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先：  
 〒838-0134 小郡市下西鯉坂1493 牟田慎一郎宛  
 お問い合わせ：  
 TEL：090-6770-2481(牟田)  
 FAX：0942-41-2080  
 E-mail：muta@ktarn.or.jp  
 Facebook：ハビタット福岡市民の会  
 HomePage：http://habitat-citizensnet.org

## ハビタット福岡市民の会 ニュースレター 発行2020年(令和2年)12月16日



**59号の主な内容**  
 ■2020年度総会 ■ハビタットひろば  
 ■チャリティ「しし鍋パーティ」  
 ■World Habitat Day  
 ■ハビタットプロジェクト紹介 ■職員紹介  
 ■ハビタットと九州産業大学が包括的連携協定  
 ■定例会 ■今後のスケジュール ■お知らせとお願い

**第59号**  
 habitat-citizensnet.org

## ■2020年度総会開催

2020年2月19日アクロス福岡のグランチャイナ福岡において、ハビタット福岡市民の会2020年度定期総会を、会員7名が出席して開催しました。2019年度の活動報告、決算報告、2020年度の活動計画(案)、予算(案)、運営委員(案)の審議が行われ、全てが承認されました。

来年度は、ニュースレターの発行は従来通り年に3回行いますが、諸経費アップのため、やむなく、郵送するのは年末の1回だけにして、あとの2回はメールでの配信に変えることになりました。また、2020年度は新型コロナウイルスの世界的感染の影響があるため、予定しているシンポジウム、フィリピンスタディツアーは、状況を見て実施することにしました。(佐竹)

### ☆2019年度活動報告

- 定例会や総会、勉強会の開催
- ニュースレターの発行(年3回)
- 国連ハビタット福岡本部の行事への参加
- シンポジウム「若者よ国連を目指せ」の開催
- 会員相互の交流会の開催

### ☆2019年度会計報告

#### <収入の部>

前期繰越し	75,785円
会費収入	48,000円
支援・寄付金	23,794円
合計	147,579円

#### <支出の部>

NL印刷費・印刷用紙・コピー代	20,860円
Fukunet年会費	2,500円
日本ハビタット協会へ寄付	8,000円
切手代	40,660円
振込手数料	1,188円
郵便振込管理口座手数料計	1,220円
通信費	8,078円
講師代	10,000円
翌年度繰越	55,073円
合計	147,579円

今期収支 71,794-92,506=▲20712

### ☆2020年度活動計画(現在までの実施状況も記載)

- 定例会を毎月原則として第3水曜日に実施
- ニュースレターを4月、8月、12月に発行  
 4月、8月は、ウェブ発行の予定でしたが中止  
 12月は、郵送(この号)
- 国連ハビタット福岡本部の行事への参加  
 ハビタットひろば 偶数月1日  
 実績：2月1日、12月1日(オンライン)
- チャリティパーティ開催

7月29日に実施  
 ・福岡市民の会主催シンポジウム(中止)  
 ・World Habitat Day イベントへの参加  
 10月5日にオンラインで開催。

### ☆2020年度の運営組織

代表 牟田慎一郎 副代表 佐竹芳郎  
 事務局長 前田直樹 事務局長次長 坪根義徳  
 会計 山前隆 監事 島祐二郎  
 HP担当 前田直樹、中川雅文  
 イベント担当 中川雅文、尾形芳憲  
 運営委員 荒田雅子、大坪優美子、寺崎富繁  
 長澤良成、松見邦子

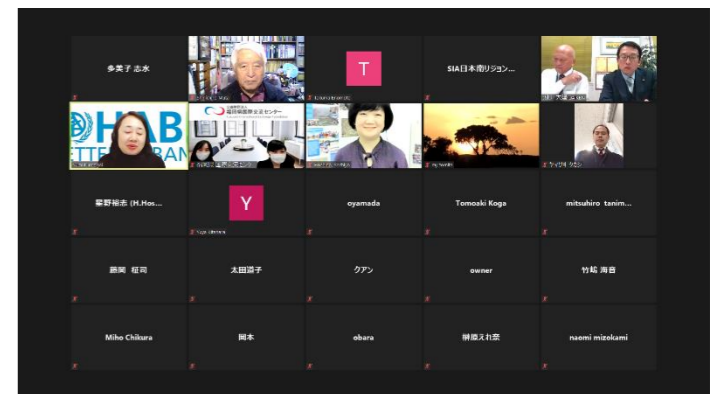


## ■ハビタットひろば

2020年12月1日、10カ月ぶりに第55回ハビタットひろばが開催されました。ただし、新型コロナウイルス感染防止のため、従来のアクロス福岡こくさいひろばではなく、Zoomを使ったオンラインで行われました。

「福岡の企業技術でケニアの難民居住区に安定した水を」というテーマで、(株)大建(福岡市)の技術で雨水を地下に貯水する施設を、ケニアのトルカナ県カロバエイの難民新居住区に建設したことが松尾代表取締役と河野プロジェクトリーダーより映像を交えて報告されました。

今回は2021年2月1日18時~19時開催予定  
 テーマは「フィリピン・マラウィ市における紛争後の再建事業(仮)」で、現地からのオンライン参加を含めて行われます。ぜひご参加ください。(牟田)





## ■チャリティしし鍋パーティ

2020年7月26日 クリエイト・プラザ（福岡県小郡市下西郷坂）で、ハビタット福岡市民の会活動支援チャリティーパーティーが行われました。参加者は、25名で、ベトナム、米国、フィジーからの留学生も加わり、国際色豊かな集まりとなりました。料理の内容も、猪鍋（牡丹鍋）だけでなく、そうめん流しや、猪の燻製、鶏や豚の手作りハム、ベトナムからの留学生によるベトナム料理など多彩なメニューとなり、料理をみんなで作るのを楽しみながら美味しくいただきました。



みんなで作る手作り料理は、また格別で、会場も大いに盛り上がりました。途中、雨が降ったり止んだりした時もありましたが、今回のパーティーは、皆さんのお陰で大成功でした。



参加費から材料代等差し引き、14000円の収益がありました。この収益金は、ハビタット福岡市民の会の運営費に充てさせていただきます。参加された皆様に深く感謝いたします。

ハビタット福岡市民の会は、今後とも活動を楽しみながら前進して参りますので、引き続き皆様のご協力を宜しくお願いいたします。（中川）



## ■World Habitat Day

毎年10月の第1月曜日は、World Habitat Day と称してナイロビの国連ハビタット本部を中心に、ワールドワイドにイベントが開催されます。

世界ハビタットデーの目的は、私たちの町や都市の状態を振り返り、すべての人が十分な避難所を守る基本的権利を反映することです。

10月31日には、「World Cities Day」と称し、ケニアのナクルで10時（日本時間16:00）から開会式があり、12:45（日本時間18:45）から、COVID-19感染防止のため、Cisco Webex 会議システムを使って4つのラウンドテーブルに分かれてオンラインで行われました。全体テーマは、

Housing For All: A better Urban Future  
すべての人のための住宅：より良い都市の未来でした。

各ラウンドテーブルは、20数名のパネリストで構成され、一般の皆さんは、それにオブザーバーのような形で参加するというものでした。

各ラウンドテーブルのテーマは、  
ラウンドテーブル① 18:45~20:45（日本時間）  
「アフリカに向けて：アフリカの弾力性のある中間都市を通じてSDGsを達成する」

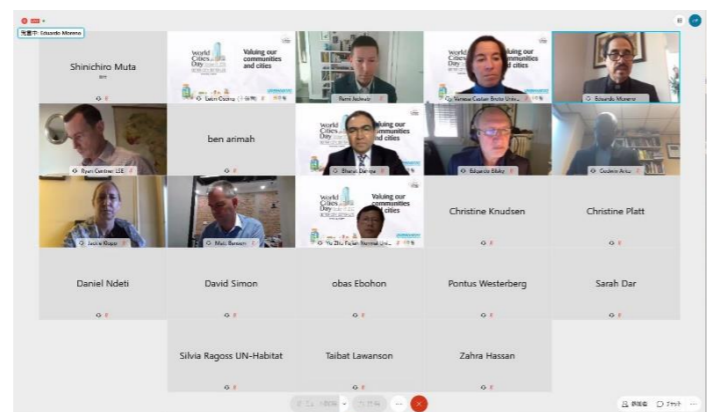
ラウンドテーブル② 18:45~20:45（日本時間）  
「持続可能な都市とコミュニティを構築するために協力して」

ラウンドテーブル③ 21:00~22:30（日本時間）  
「公共スペースを通じてより良いコミュニティを構築する」

ラウンドテーブル④ 22:00~00:30（日本時間）  
「世界の都市レポート2020 タイトル：持続可能な都市化の価値」  
というものでした。

ラウンドテーブル④には、元国連ハビタット福岡本部の職員だったインド出身のBharat Dahiyaさんも参加しお話しされていました。

聞くだけの参加でしたが、こういう国際会議への参加は初めてで、いい経験になりました。（牟田）



## ■ハビタットプロジェクト紹介

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行により、衛生管理がより重要となっています。日本では、徹底した手洗い、マスクの着用、アルコール消毒など当たり前のように行われています。しかし、世界では、衛生管理の環境が整っていなかったり、その習慣がなかったりというように新型コロナウイルスとの戦いでディスタドパンテージを背負っているところがたくさんあります。そのため、国連ハビタットはコロナ禍において衛生状態を良好にすべく、住民と一体になって迅速に対応しています。

これまで、水環境の整備のために、例えば、下水処理施設の改善や飲料水としても利用可能な雨水地下貯水タンクの整備、水質改善のための納豆菌を埋め込んだブロックの設置などを行ってきました。

COVID-19 流行下においては、手洗い場を設置したり、whatsapp というアプリを使用して感染状況に関する情報の発信や街中の随所での消毒、マスクの配布などに取り組んだりしています。マスク着用の習慣がない地域では、マスクの正しい着用方法やマスク着用がもたらす効果などの研修も行われています。また、経済の面でも、マスクや手袋の製造など衛生管理の分野での雇用促進なども実施しています。

フィリピンで2番目に大きな島ミンダナオ島西部のマラウィの村では、緊急事業として、国内避難民が暮らしやすいエリアでサテライト市場や移動店舗を運営して都会へ足を運ばず現地で買い物ができるようにしています。コミュニティボランティアでご自身も避難民である現地のチームリーダーの方は、マスクや消毒、身体距離確保といった感染症対策の重要事項の実践や呼びかけに加え、国連ハビタットの COVID-19 対策によって供給されたサーモグラフィや手袋を使用するなどして感染症から地域を守っています。

また、ネパールでは、いつ感染爆発が起きてもおかしくないようなインフォーマル居住区、野菜市場、遺産価値のある公共空間、学校などに手洗い場が設置されました。これらは全て地元の機関や人々に引き継がれました。

現地住民の方々と一体となってプロジェクトを進めているため、感染症対策を円滑に地域に引き継ぐことができ、双方向のやりとりの重要性を実感しました。国連ハビタット福岡本部の Facebook では、随時最新の情報が更新されていますので、皆様もぜひご覧ください。（大田）



パキスタン・ラーワルピンディに設置された手洗い場で、手を洗う現地の人。住民と一体となって感染拡大防止と経済的影響緩和に取り組んでいます。  
※写真提供：国連ハビタット



フィリピンのマラウィにあるサテライト市場ソフト面、ハード面含めて感染症対策が実施されています。これは、国連ハビタットの COVID-19 Response によって提供されました。  
※写真提供：国連ハビタット

## ■ハビタット職員紹介

スリランカ出身の Laxman Perera さんを紹介します。

メールにて質問した内容と本人よりの回答（英語）です。

【国連ハビタットでの役職】  
Human Settlements Officer  
(人間居住専門官)。

【前職】  
ミャンマー担当の Deputy Country Manager

【国際機関に入ったきっかけ】

To serve needy and vulnerable people across the globe and to promote sustainable and healthy living for all.

【国連ハビタット福岡本部での担当】

Areas of Projects: Climate Change, Disaster Risk Reduction, Housing, Urban Governance, Community based infrastructure. 担当国は Bangladesh, Cambodia, Mongolia, Pakistan and Vietnam.

【趣味】 Driving and wildlife

【モットー、座右の銘】 live with nature

【福岡の印象】

Fukuoka is a wonderful city, so much green, mixture of modern and heritage, friendly people, and good food. Fukuoka is an ideal place for good work-life balance. (T.Y.)



## 国連ハビタット福岡本部と九州産業大学が包括的連携協定を締結

この協定に基づき国連ハビタット福岡本部は、九州産業大学が今年度後学期より開設するグローバル人材育成を目的とする特別教育プログラム「グローバル・リーダーシップ・プログラム」に国際業務実務者を講師として派遣し、受講学生の国際的教養と知識の修得および国際社会で協働するための実践力の養成に寄与するとともに、同本部において国際協力活動の実務現場を理解する機会を設けるなど、人材育成活動を支援します。

国連ハビタットは、社会面でも環境面でも持続可能なまちづくりを推進し、全ての人々が適切な住まいを得ることができると世界の実現を目指している国連機関であり、世界4カ所の地域本部の1つである福岡本部は、アジア太平洋地域28の国と地域を統括し、各地に設置された17の国事務所を通じて、アジア地域で深刻化する都市人口の増大や格差の拡大に伴うスラムの拡大や生活環境の悪化などの都市問題に対し、スラム改善や貧困削減の事業、コミュニティの自立的運営による都市環境改善事業、政府・自治体に対する政策提言等を行っています。

包括的連携協定によって、国連ハビタット福岡本部は同本部の活動に九州産業大学各分野の専門家の知見を活用できるとともに、九州産業大学はグローバル教育において、貴重な国際社会での実務の場を得ることができます。

9月16日(水)、「グローバル・リーダーシップ・プログラム」の初回の授業に続いて開催された締結式において榊泰輔学長は、「国連ハビタット福岡本部の豊富な国際経験を本学の教育・研究に生かしたい」と期待を寄せました。

※九州産業大学ウェブサイトより